

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	必修
担当教員			
西村 伊知恵			

講義概要	認知症を取り巻く歴史的背景や施策、認知症の人の現状を理解する。また、認知症の原因となる主な病気や症状の特徴を学び、それによって引き起こされる機能の変化や日常生活への影響を理解し、個々にあった的確なケアができるための知識を習得する。
授業計画	<p>1 認知症を取り巻く状況（1） 認知症とは何か、認知症ケアの歴史 テキストp 2～22</p> <p>2 認知症を取り巻く状況（2） 認知症ケアの理念と視点 テキストp 2～22</p> <p>3 認知症のさまざまな症状（1） 中核症状と周辺症状Ⅰ テキストp 24～</p> <p>4 認知症のさまざまな症状（2） 中核症状と周辺症状Ⅱ テキストp 24～</p> <p>5 BPSDのなかの行動症状 BPSD、意識障害、本人の体験 テキストp 36～43</p> <p>6 脳のしくみ（1） 老化、脳機能と認知症、記憶低下 テキストp 44～57</p> <p>7 脳のしくみ（2） 認知症に類似した症状 テキストp 44～57</p> <p>8 認知症の原因疾患（1） 原因疾患と脳Ⅰ テキストp 58～68</p> <p>9 認知症の原因疾患（2） 原因疾患と脳Ⅱ テキストp 58～68</p> <p>10 認知症の原因疾患（3） 原因疾患と脳Ⅲ テキストp 58～68</p> <p>11 認知症の診断と治療（1） 認知症の診断と治療Ⅰ テキストp 69～83</p> <p>12 認知症の診断と治療（2） 認知症の診断と治療Ⅱ テキストp 69～83</p> <p>13 認知症の予防 危険因子、予防の対策 テキストp 84～89</p> <p>14 認知症の人の心理的理解（1） 人の理解と介護 テキストp 90～98</p> <p>15 認知症の人の心理的理解（2） 認知症の心理学的理解 テキストp 92～103</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①認知症の人がおかれてきた歴史を理解する</p> <p>②認知症の人がおかれている現状について理解する</p> <p>③老化のしくみと認知症の人の脳の状態を理解する</p> <p>④認知症の人に対する医学的理解を深める</p> <p>⑤認知症の人に対する心理的理解を深める</p>
教科書・参考書	<p>テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会「新 介護福祉士養成講座 12『認知症の理解』第3版」中央法規出版</p> <p>参考書：適時配布を配布する</p>
履修条件	
履修上の注意	

オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける
備考・メッセージ	常に認知症に関する新聞記事やテレビ番組に興味を持って視聴し、授業で習ったキーワードと映像がつながることができるようにしてください。